

授業科目(ナンバリング)	ソーシャルワークの理論と方法(社会) I (DB307)			担当教員	梅野 潤子		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	3年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ ラーニング の類型
<p>社会福祉士と介護福祉士に求められる専門力の向上を中心に取り組み、ソーシャルワークとケアワークにおいて求められる各種理論及び方法に関する知識の習得を目指す。</p> <p>具体的には、ソーシャルワークの概要、ソーシャルワークの基礎概念、<u>支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための知識と技術について理解するとともに、ケアワークにおける人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得することをねらいとする。</u>その中で、実践に対する理論的な思考を養い、実習に向けて求められる基礎的な理解を深める。</p>							①④⑤ ⑦⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	ソーシャルワークに関する理論及び方法について説明できる。 ソーシャルワークに関する基礎的な用語・概念を理解できる。				定期試験 小テスト(課題)	25% 20%	
情報収集、分析力	ソーシャルワークに関する基礎的な用語・概念を整理できる。				授業ノート	20%	
コミュニケーション力	ソーシャルワークについて自分の言葉で表現できる。				定期試験	25%	
協働・課題解決力	ソーシャルワークに関する事例に取り組むことができる。				定期試験	10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験(60%)では、ソーシャルワークの概要と基礎概念、人と環境との相互作用、援助関係と関係形成、面接技術とコミュニケーションに関する知識の習得度を評価する(持ち込み不可;再試験を受ける場合に必ず事前に教員に相談すること)。小テスト(課題)(20%)では、学んだ用語・概念の理解度を問う。授業ノート(20%)では、専門用語について自分の言葉で適切にまとめられるかを評価する。必要に応じて、ポートフォリオ上と授業内でフィードバックを行う。</p> <p>なお、不適切な授業態度(教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話等の使用、居眠り等)は、発覚した場合に減点の対象となる。</p>							
授業の概要							
<p>基本的には講義形式で授業を進めるが、理解を深めるためのグループワークとレスポんを使った社会福祉士国家試験の過去問題も頻繁に取り入れるソーシャルワークの概要とソーシャルワーク基礎概念、から出発し、ソーシャルワークにおける援助関係の形成、ケアワークにおける人間関係の形成とコミュニケーションの基礎について学ぶ。「ソーシャルワークとは何か」という根本的な問いを常に意識し、教員の国際ソーシャルワーカー連盟地域会長補佐、外国人支援団体の相談員と重度訪問ヘルパーとしての実務経験を基に、ソーシャルワーク特有の人間観と援助観を身につける。</p> <p>本科目の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：①一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編集)(2021)『ソーシャルワークの理論と方法(社会専門)』中央法規</p> <p>②一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟(編集)(2021)『ソーシャルワークの理論と方法(共通科目)』中央法規 *教科書②は、ソーシャルワーク理論と方法(共通)1・2の教科書を引き続き使用する。</p> <p>参考書：北島英治(2008)『ソーシャルワーク論』ミネルヴァ書房。</p> <p>指定図書：山下英三郎(2006)『相談援助』学苑社。</p>							

授業外における学修及び学生に期待すること

社会福祉士国家試験受験資格の指定科目であるため、国家試験を意識すること。講義を軸にしなが、予習・復習の一環として教科書を事前・事後に確認し、専門書を読む習慣を身につけるなど、抽象度及び専門性の高い内容に対する理解を深められるように努力すること。

なお、本科目専用のノートはもちろん、聞き慣れない専門用語について自分にとって分かりやすい言葉で記入する単語帳を導入することを強く勧め、定期的の確認し、評価の対象とする。

また、出席管理に影響するため、教員が示す座席指定表に従って座ること。

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	科目全体の説明を経て、学修目標となる国家試験内容を確認する。	予習：関連科目の復習 復習：シラバスの熟読
2	ソーシャルワークの概要①	国内外の各種定義を基に、ソーシャルワークの捉え方について学ぶ。	予習：教科書 I 1-19 頁 復習：小テストの準備
3	ソーシャルワークの概要②	国内外の専門的な組織構造を基に、ソーシャルワーカーが活躍する場について学ぶ。 小テスト①	予習：教科書 I 20-26 頁 復習：小テストの準備
4	ソーシャルワークの概要③	ゲストスピーカー：社会福祉士の活用場 (独立型ソーシャルワーカー)	予習：教科書 20-26 頁 復習：小テストの準備
5	ソーシャルワークの基礎概念	ソーシャルワークの基本的な構造と構成要素について学ぶ。また、ニーズの捉え方とソーシャルワークの機能、ソーシャルワーカーの役割について学ぶ。 小テスト③	予習：教科書 I 38-51 頁 復習：小テストの準備
6	ソーシャルワークにおける援助関係の形成①	援助関係の基礎構造と歴史的な発展について学ぶ。 小テスト④	予習：教科書 I 69-76 頁 復習：小テストの準備
7	ソーシャルワークにおける援助関係の形成②	援助関係形成の基本原則と援助者の役割について学ぶ。 小テスト⑤	予習：教科書 I 77-84 頁 復習：小テストの準備
8	人間関係の形成とコミュニケーションの基礎①	援助関係形成に必要な心理学的支援と援助関係の性質について学ぶ（自己覚知・他者理解演習を含む）。 小テスト⑥	予習：教科書 I 85-93 頁 復習：単語帳の準備
9	ソーシャルワークにおける援助関係の形成③	事例等を通して援助関係形成の実際について学ぶ（過去問題演習を含む）。	予習：前半の振り返り 復習：小テストの準備
10	ソーシャルワークにおける援助関係の形成④	ソーシャルワーク面接の目的、構造、特性について学ぶ。 小テスト⑦	予習：教科書 I 249-255、 258-260、266-268 頁 復習：小テストの準備
11	ソーシャルワークにおける援助関係の形成⑤	ソーシャルワーク面接の展開過程について学ぶ。 小テスト⑧	予習：教科書 I 255-260 頁 復習：単語帳の準備
12	人間関係の形成とコミュニケーションの基礎②	言語・準言語・非言語コミュニケーションの意義や機能とラポール形成について学ぶ。 小テスト⑨	予習：教科書 I 261-265 頁 復習：疑問点の整理
13	ソーシャルワークにおける援助関係の形成⑥	事例等を通して面接技術の実際について学ぶ（過去問題演習を含む）。 小テスト⑩	予習：後半の振り返り 復習：小テストの準備
14	ソーシャルワークにおける援助関係の形成⑦	アウトリーチについて学ぶ。	予習：教科書 I 155-165 頁 復習：半期の振り返り
15	まとめ	受講者自身により半期の振り返りを通して全体まとめを行う。	予習：疑問点の整理 復習：定期試験の準備
16	定期試験		